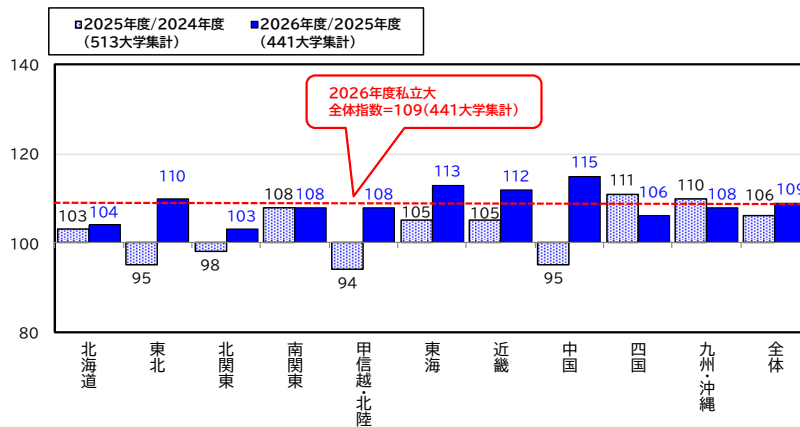


※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎地区別志願状況

□志願者数は中国が大幅増加

〔私立大一般選抜 地区別志願状況〕



大学本部の所在地別の志願状況では、中国(115)は大幅増加、東海(113)、近畿(112)、東北(110)は増加で、これらも4地区が全体(109)を上回っています。南関東(108)、甲信越・北陸(108)、九州・沖縄(108)はいずれも増加、四国(106)、北海道(104)、北関東(103)はいずれもやや増加です。

募集人員の多い大規模な総合大学が所在する3大都市圏の動向について見ていきます。南関東(108)、東海(113)、近畿(112)はいずれも増加となっています。南関東では、日本大、桜美林大、芝浦工業大

の志願者がいずれも1万人以上増加です。東海では、名城大が3年連続増加、愛知大は2年連続増加です。近畿では、近畿大、摂南大の志願者がいずれも1万人以上増加しており、これが地区全体の増加に繋がっています。